



サーバス九州

日本サーバス九州支部会報 No.154 2013年4月23日発行 支部長 O.T.

河津サクラ、大島サクラ、ソメイヨシノ、そして八重桜と続いているサクラ競演・・・当地は今年にはサクラの開花期と天候の相性がよく、ことのほか長く満喫できました。そろそろ、山笑う季節です。自然の恵みを安心して謳歌できるものであり続けてほしいと願っています。

サーバス九州支部会報 154号（2013、4月号）をお届けします。

内容は以下の通りです。

- 1 2013年度九州支部会議の報告
- 2 サーバストラベリング報告
- 3 スンチョン庭園博見学と韓国サーバスメンバーとの交流
- 4 サーバス九州会員情報
- 5 日本サーバス国内会議
- 6 サーバス九州連絡先等（常掲）

1.'13 九州支部会議と世界旅行報告会を開催しました

2013年の九州支部会議は下記の要領で開催されました。

期日： 2013年 4月 20日（土）13時30分～19時20分
会場： 西南大学コミュニティセンター2F会議室＋西南クロスプラザ2階レセプション室
日程： 13:30～13:50： 受付・団らん（コミュニティセンター2F会議室）
14:00～15:00： 世界旅行報告 福岡 T.A. 会員
15:00～16:40： 支部会議
17:00～19:20： 夕食・懇親会クロスプラザ2Fレセプション室
費用： 夕食・懇親会一人2,500円
参加者：24名（会員：大分5、福岡5、佐賀1、長崎4、宮崎5、熊本0）
フランス人留学生1名、スリランカから3名

支部会議の様様は大分のK会員のレポートを次号で紹介しますが、とりあえず簡単に報告します。

世界旅行報告は福岡のT.A.さんがパワーポイントを使って豊富な写真をもとに行ってくださいました。2回に分けて旅された240日分（35か国）の旅の報告を1時間でという無理なお願いをしましたが、快く引き受けていただきました。時間の関係で、旅の途中までの報告でしたが、楽しくお話を伺いました。残りは九州支部の会報でシリーズものとしてお楽しみいただくことになりました。

た。ご期待ください。詳しい情報がほしい方は本人に直接お問い合わせください。

定例の会議では議案書を元に 2012 年度の活動の振り返り、決算報告そして 2013 年度の活動計画と予算審議をおこないました。いずれも承認していただきましたので、本年度の活動をこの線で進めていきたいと思えます。

そのほか

- 1 H.F. 氏死去に伴い空席になっていた副支部長には福岡の T.Y. 会員が選出されました。
- 2 各県世話役は全員再任でお願いすることになりました。空席の長崎は O.T. から Y.K. 会員にお願いしました。
- 3 IT 委員 N.S からは 3 点のお願いがありました。
 - ①日本サーバスホームページの改訂を企画。ホームページに載せる写真（できたら交流をしている写真）を提供してほしい。
 - ②ホームページを時々訪れてください。書き込みもお願いします。ということでした。トラベリングやトラベラー受け入れの模様を気楽にお書きください。（書き込みに必要な ID や暗証番号は何回かお知らせしていますが、お忘れの方は支部長までお問い合わせください。）
 - ③九州支部の会報に載った会員のトラベラー報告や受け入れ報告は CD で保存されているそうです。ほしい方はご一報ください、とのことでした。50 周年記念誌に掲載された以外に多数の報告が載っているそうです。
- 4 N.M. 東アジア地区コーディネーターから東アジア地区ミーティングについて議案書掲載事項に追加した補足説明がありました。

東アジア地区ミーティング（日本・韓国・中国・台湾・モンゴル）

期日：2013 年 11 月 16、17、18 日（支部例会と重なっています！）

場所：中国の広州（香港から列車で約 2 時間）コーディネーターのイー教授が勤務されている中山大学で。大学内のホテルに宿泊。

費用：参加費（宿泊費等を含む）230 ドル、往復旅費は別。問い合わせは N.M. コーディネーターへ

- 5 秋例会は 11 月 16 日 17 日大分県竹田の竹楽祭り見学と長湯温泉です。ご期待ください！

*** 議案書はみなさまにホストリストと一緒にお届けいたします。***

2. サーバストラベリング報告

フランス・ドイツ旅行記

宮崎市 H.T.

2013 年 2 月 9 日から 2 月 28 日までサーバスステイを中心に、フランスとドイツを旅行しました。今回の旅の目的は、ひとつは 20 年来の友人であるパリ郊外に住んでいるアメリカ人（非会員）を訪ねること、もうひとつは昨年と一昨年私の家に受け入れたサーバス会員を訪ねることでした。

2 月 9 日に成田に前泊し、翌日フライト。2 月 10 日から 12 日までパリ郊外に住むア

アメリカ人宅にステイ、12日にフランス TOURS に住むサーバス会員宅に移動し14日まで滞在、15日に発ってドイツのケルンに向かいホテルに一泊し、ハンブルグでホテルに2泊した後18日にボン郊外に住むサーバス会員を訪ね20日まで滞在、21日に会員宅を後にしてケルンに一泊後に再びパリ郊外のアメリカ人宅に戻って27日までステイという日程でした。

① 機上での思わぬ出会い

2月10日発成田からパリ行きの飛行機の中でのこと、私の座席は2人席の通路側でした。隣の窓側にはフランス人男性が座っていました。これから約12時間の長いフライト、お互い黙って過ごすのも窮屈ですし、彼は席を離れる時に不便があるかも知れません。そこで私は彼に必要な時はいつでも遠慮なく声をかけてくれるように話しました。そのことがきっかけとなって、彼は名前をJと言い、パリに住んでおり、システムエンジニアで2週間の休暇を取って6度目の日本旅行をしていることを金沢・白川郷・高山・富士山などで撮ったデジカメの写真を見せながら旅の印象を話してくれました。私は九州に住んでいることや今回の旅の目的を話し、アメリカ人の友人宅をいったん離れたあと10日後には再びパリに戻って来ることを話しました。彼はまだ九州には行ったことがないと言うので、私のサーバス名刺を渡して今後機会があったら是非宮崎を訪ねるように言いました。そんな話の中で、彼の方から「あなたがパリに戻ってきたら、パリ市内のどこかで会わないか」と提案がありました。そして2月24日に私の友人も一緒にノートルダム聖堂に近いレストランで再会、食事を楽しんだ後界限を散策しました。

飛行機の中でのちょっとした会話がきっかけとなって新たな友人を得ることができるなんて、パッケージツアーではまずありません。これも今回のサーバス旅行のお陰でした。彼に帰国後メールを送ったところ、いつか屋久島に行きたいと思っていると返信がありました。再会できたらいいなと思っています。

② フランスの高校生の授業に参加、質問を受ける

2月10日から12日まで、22日から27日までと計10日間パリから電車で30分の郊外に住んでいる20年来の友人であるアメリカ人M宅にステイしました。彼は近くの高校で英語を教えています。日本を出発する前に、彼が教える授業に参加して生徒の日本に対する質問に答えてくれないか、逆に私からも質問をして欲しいとの要請がありました。私はかねがね外国の学校を訪問してみたいと思っていたので即快諾しました。

11日(月)に2クラスの授業に臨みました。どんな質問が飛び出してくるのか緊張していました。彼の計画で進んでいき、今日の授業のねらいはstereotype(固定観念)を破ることだという説明がなされた後、生徒から次のような質問がでました。

- あなたは空手など武道をするのか
- 日本では犬を食べるのか
- 鮎を毎日食べるのか
- 日本での今の大きな問題は何か
- 刺身は好きか
- Mとどのようにして知り合ったのか
- Good-bye, オーボアは日本語で何と言うか

などでした。初級クラス程度のレベルでしたので、あまり難しい質問はありませんでした。私と教師の彼から日本人がすべて空手、柔道をしたり、毎日鮎を食べる訳ではないなどの話、説明をしました。生徒の発言の音が小さくてよく聞き取れないことがあり彼がもっと大きな声で話すようにと促す場面がたびたびありましたが、彼によるとフランス人はシャイなところあるんだと言ってました。最初のクラスでは、授業の後半になると隣同士で私語が始まり彼が注意しました。

教室は日本のように固定教室ではなく、授業の度に生徒が教室を移動します。授業の開始前と終了後に教師が鍵の開閉をします。従って廊下には生徒がたむろしています。中には公然と廊下でキスをしている男女生徒がおり驚きました。イアリング、化粧もしています。服装も自由で胸の上部が半分露になっている女子高生もおり度肝を抜かれました。これが日本だったらと比較し考えてしまいました。

校内には学生食堂があり、buffet方式で生徒・職員が昼食をとります。私も彼の同僚と一緒に同じテーブルでランチを食べながら雑談しました。生徒数1200人・職員数120人の学校ですが、この学校には「いじめ」はないと言っていました。

③ TORUSの会員宅にステイ ～ ワインの産地、洞窟の中の邸宅・レストラン、古城

12日から15日まで昨年我が家にステイしたM&P夫妻をTORUSに訪ねました。12日午前友人宅を出発しパリ・モンパルナス駅からTGVで南西約1時間10分にあるTOURSに向かいました。乗車予定を変更したので前もって連絡していた時間より2時間早く到着。Tourist informationで絵葉書を買って市内地図を手に入れ、昼食に駅構内でホットドッグを食べたりしながら時間を過ごしました。やがてMが元気な声で近づいてきてハグ、キスを交わす。Pの車で自宅に向かう途中ロワール川を渡りましたが、この流域は白ワイン、赤ワインの名産地だそうで、丘陵地帯の至る所にブドウ畑が広がっていました。民家の小高くなった裏山にはそれぞれ洞窟があり、扉がついています。これはワインを適正管理・貯蔵するためのもので多くの家に見られました。

約20分で自宅に到着。古い石造りの家で17世紀に建てられたとのこと。天井にはいくつもの黒々とした太い梁が家を支えています。当初は家畜小屋と道具物置小屋で住める状態ではなかったのを夫婦だけで天井や壁の汚れを落とし、漆喰を塗り改装しました。リビングルームには暖炉と大きな鉄脚のテーブルがあります。窓の新設、キッチンの流し、シャワールーム、トイレ、2階のトイレ・寝室の設置などこれらすべてを自分で改造工事したというのですから驚きです。彼は趣味だと言っていました、プロ並みの彼の器用さには脱帽です。裏庭は約300坪はあろうかという広大な敷地で、夏は木陰でバーベキューをするそうです。

M手作りのケーキ、地元特産のポークとティーでしばし雑談。夕食に彼女のパンプキンスープ、Pが暖炉で焼いたラムを御馳走になりました。暖炉の上にもふと目をやると、夫妻が宮崎に来たとき私の家族と一緒に撮った写真が置いてあり嬉しくなりました。

2月13日の午前中、Mと一緒に隣町の朝市に行きました。広場にはたくさんの新鮮な果物、野菜、肉、魚が販売されており、店の人はとてもフレンドリーでした。帰途、近くに住んでいる彼女のお母さんに会いに行きました。86歳ですが一人で元気に暮らしています。昼食はサーバスゲストに対する歓迎のランチとして私にとっては初めてのフォアグラをいただきました。昼食後に夫妻と3人でLangeais城に行きました。約1000年の歴史を持つ古城です。Mの説明を聴きながら興味深く見学しました。

帰途、Pの友達を訪問しました。この家はCave(洞窟)の中にあります。しかし、洞窟というイメージとはほど遠く、漆喰で白く塗られた内部はとても広く清潔で、暖房、電気設備、バストイレ、コンピュータールーム、電化製品の整ったキッチン、広いリビングなどとても豪華でホテルのような住まいでした。この地方一帯は古城がたくさんあることで有名なのですが、お城を造るために石を掘り出した跡を住居や翌日行ったレストラン、あるいはワインセラーとして利用しています。雨水の漏水が気になりましたが、植物の葉っぱや樹木の根っこ、岩、漆喰で塗り固めた天井で外に排出されて全く問題ないとのことでした。



夕食には大学の学長を退職した友達夫妻が訪れました。朝市で買ったにしんの焼魚料理、オリーブポテト、ワインなどを美味しく頂きながら談笑しました。

2月14日はその昔、橋だったところにお城が築かれたことで有名なChenonceau城に行きました。観光客の人気スポットのひとつです。昔の調度品、タペストリー、絵画など興味深く見学しました。夜は隣村にあるレストランをMから紹介してもらって、私が夫妻をお礼に招待しました。このレストランも洞窟の中にありますが、全く違和感はありませんでした。オーナーシェフの奥さんもとてもフレンドリーでした。

④ ドイツの会員宅にステイ ～ のどかな田園地帯、息をのむ古城からの絶景

ケルン、ハンブルグをホテル泊で観光した後、2月18日にボン郊外に住むRを訪問しました。ボン駅での出迎えにちょっとした行き違いがありましたが、再会でき彼女の運転で約20分の間に向かいます。山手の丘陵にあるのどかな田園地帯でとても静かな環境です。小高い所にある自宅の2階のリビングルームからは大きな窓を通してなだらかな牧草地帯を遠望することができ、春には一面の黄色い菜種の花でとてもきれいだそうです。Rは一昨年、その前年には次男が我が家にステイしました。夫のPは9年前に政府機関の公務員を退職、物静かですが気配りのきく話好きな紳士でした。ここでの日本人のステイは私が初めてとのことでした。

彼女が私のために作ってくれたアップルケーキとコーヒーをいただいたあと、近くの山上にあるPetersberg Grand Hotelに行きました。歩くこと約40分、頂上に着くと360度見晴らしのきく、ライン川を見下ろす絶景です。このホテルは2001年にアフガニスタン問題を話し合うために世界の首脳が一堂に会したほか、クリントン大統領、マンデラ大統領、エリザベス女王、天皇など世界の指導者や有名人が多数訪れ宿泊した格式のあるところです。Rがホテル受付で日本の客を連れてきたのでと特別に許可をもらい、ホテル内を見学させてもらいました。夕食後にPに漢字の成り立ち、彼の妹が台湾留学中に彼のために作ってくれた四角い印鑑に彫ってある漢字の意味をレクチャーしたところ、大変喜んでくれました。



2月19日は一人でボン市内を見学。ベートーベンハウス、マーケットの見学、ライン川ほとりの散策などで過ごしました。夕食はPが作ってくれたドイツ料理のSour Potatoをワインとともにご馳走になりました。

2月20日は古城Drachenfels(竜の岩)までRとハイキングしました。この古城は七つある中世古城のひとつで「地球の歩き方」にも紹介されています。麓までPが車で送ってくれました。頂上の古城まで約5キロ、数日前の降雪で道が凍結していて、私は途中で転び左目の上を軽く怪我してしまいました。約一時間で到着。山上からはゆったりと流れるライン川、対岸の川沿いの建物を見下ろし、遠くにはなだらかな丘陵が連なり、ボン市内も眺望できます。それは素晴らしい景色でした。まさに文字通り息をのむ絶景です。感激しました。通常のツアーではライン川クルーズで遊覧船から古城を見上げるのですが、私はその逆を体験したのです。このような素晴らしい計画をしてくれた夫妻に心から感謝しました。下山は反対側の町に下りて、彼女お気に入りのカフェでPと落ち合って昼食、ソーセージと豆の入ったCpeau-soupを食べました。とても美味でした。帰途、廃墟となっている修道院を見学しました。

2月21日午前、地元の駅で夫妻に見送られながらパリに戻るために再びケルンに向かいました。Rからケルン大聖堂には500段を歩いて登る展望台があると聞いていました。時間があつたので500段をあがりましたが、大変きつかったです。でもそこから市内を眼下に見下ろす展望は寒さと疲れを忘れさせてくれました。

2月22日の電車でパリに戻り再びアメリカ人M宅に27日までステイしましたが、その間約10cmの降雪があり珍しい雪景色を見ることができました。今回は2008年(6週間)、2009年(5週間)のヨーロッパ旅行と違い期間が短かったのでホームシックにもかからず、大きなハプニングにも遭遇しませんでした。友人やサーバフフレンドを通じてたくさんの人達と会って話すこともできました。楽しく愉快的素晴らしい旅行でした。

3. スンチョン(順天) 庭園博見学と韓国サーバスメンバーとの交流

前号でスンチョン庭園博見学を少しお知らせしていましたが、それについて支部会議でアウトラインを提起し、了解をえましたので、以下の計画で進めていこうと思います。

これが今年度の夏例会になります。韓国の国内会議参加者とも交流できるように時期を合わせたため、10月になりました。秋例会との期間が短いのが難点ですが……。参加意向をお持ちの方は早めにご連絡いただけると見通しが立てやすくなりますのでありがたいです。計画は釜山支部長のCさんと連絡を取り合いながらすすめていきます。

期日：10月11日(金)～10月14日(月)

日程：10月11日(金)：博多港から高速船で釜山港へ。サーバス宅ステイ

10月12日(土)：釜山支部のメンバーと一緒にスンチョン庭園博へ。スンチョン近辺宿泊

10月13日(日)：トンヨンまたは特色ある田舎を訪問後、夜20時発のカメリア号乗船。
船内泊

10月14日(月)：朝7時30分博多港着

費用：5万円(交通費、万博入園料、食事代を含む)

申し込み：一次締め切り、5月末。二次締め切り 6月末

申し込み方法：①パスポートコピーを添えて支部長O.T.宛に(前回参加者でパスポートに変更がない方はパスポートコピーは不要です)

②代金は緒方の郵貯口座に振り込んでください。申し込みのあった方に個別に連絡いたします。チケット予約は3か月前からですので、それまではキャンセル料はかかりません。

4. サーバス九州会員情報

1 新入会者紹介：

I.Y.さんが入会してくださいました。故H.F.さんのご近所でH.F.さんにサーバスの話をたくさんお聞ききになり、ずっと興味をもっていたそうです。ご活躍を期待いたします。今夏はピースボート乗船を予定されているそうです。

2 サーバス九州現況(2013年4月20日現在)

会員数 59 家族

<内訳：大分 17、熊本 6、佐賀 5、長崎 8、福岡 13、宮崎 10>

5. 日本サーバス国内会議から

日本サーバス国内会議が東京で行われました。

期日：2013年3月16日(土曜日) 13:00-17:30

3月17日(日曜日) 09:00-12:00

九州支部からは日本サーバス東アジア地区コーディネーターのNさん、IT委員のNさん、そして支部長のOが出席しました。話し合われた事項は日本サーバスのHPでご覧ください。そのうち公式記録が載せられると思います。

特徴的だったのは以下の点です。

1. 日本サーバスホストリストの電子化について。取り入れる方向で検討

2. 日本サーバスホームページのリニューアル。会員の投稿推進
3. 被災者支援プロジェクトについて。東北支援に限定せず「被災者支援」として残す。
4. NPOについて。登録する方向で検討
尚、東北支援の一つの形として「陸前高田市図書館ゆめプロジェクト」が紹介されました。
その時のプリントをお届けします。各自で実情に応じて取り組んでいただければと思います。
上記「 」内の文字列を入力して検索すれば詳しい情報が出てきます。

6. サーバス九州連絡先(常掲)

発行日：2013年4月23日 (154号)

発行者：サーバス九州支部長 O.T.

【会費、認定料等の送金はこちらにお願いします】

・<郵貯口座からだと送金無料>

記号：17240 番号：17160361

名称：サーバス九州事務局

・<他銀行から>

店名：七二八 (ナナニハチ)

店番：728 種類：普通

番号：1716036 (有料) (これには末尾1不要)